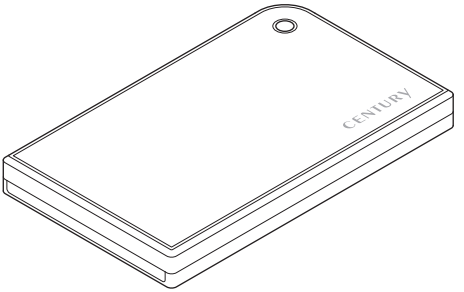
MOBILE BOX

USB3.0接続 SATA 6G対応
2.5インチHDD/SSDケース

CMB25U3BK6G/CMB25U3BL6G
CMB25U3RD6G/CMB25U3GD6G
CMB25U3SV6G

取扱説明書



CENTURY

もくじ

はじめに 4

- ●安全上のご注意 5
- ●制限事項 10
- ●ご使用の前に 11

製品仕様 12

製品内容 13

各部の名称とはたらき 14

対応情報 16

- ●対応HDD/SSD 16
- ●対応機種 17
- ●対応OS 18

使用上のお願い 19

HDD/SSDの組み込み方法 20

- ●HDD/SSD接続の前に 20
- ●HDD/SSDを本体に組み込む 21
- ●7mm厚のHDD/SSDを本体に組み込む場合 26

PCとの接続方法 27

2モードLED機能について 28

●各USB接続時の状態を確認する…… 28

トラブルシューティング 30

FAQ(よくある質問とその回答) 33

巻末付録 巻末付録1

●Windowsでの領域の確保とフォーマット …… 巻末付録 2
■Windows 11 / 10 / 8.1 / 7 / Vistaの場合 …… 巻末付録2
■Windows XPの場合 …… 巻末付録10
●Windowsでのハードウェアの取り外し手順 …… 巻末付録18
●MacOSでの使用方法(MacOS 10.6～10.10まで) …… 巻末付録20
●MacOS 10.11以降でのフォーマット …… 巻末付録24

サポートのご案内 巻末付録28

はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書には、重要な注意事項や本製品のお取り扱い方法が記載されています。

ご使用になる前に本書をよくお読みのうえ、本製品を正しく安全にお使いください。

また、お読みになった後も大切に保管し、必要に応じてご活用ください。

安全上のご注意〈必ず守っていただくようお願いいたします〉

○ご使用の前に、安全上のご注意をよくお読みの上、正しくご使用ください。

○この項に記載しております注意事項、警告表示には、使用者や第三者への肉体的危害や財産への損害を未然に防ぐ内容を含んでおりますので、必ずご理解のうえ、守っていただくようお願いいたします。

■次の表示区分に関しましては、表示内容を守らなかった場合に生じる危害、または損害程度を表します

⚠警告	この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性を想定した内容を示します。
⚠注意	この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害ないし物的損害を負う可能性を想定した内容を示します。

	注意指示事項		禁止(禁止行為)
	分解禁止		濡れた手での接触禁止
	水濡れ禁止		電源プラグを抜く
	接触禁止		ケガに注意

安全上のご注意〈必ず守っていただくようお願いいたします〉

⚠警告

煙が出る、異臭がする、異音がする場合は使用しない

煙が出る、異臭がする、異音がするときは、すぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

異常状態のまま使用すると、故障、火災、感電の原因となります。

機器の分解、改造をしない

機器の分解、改造をしないでください。

内部に手を触れると、故障、火災、感電の原因となります。

点検、調整、修理は、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

機器の内部に異物や水を入れない

機器の内部に異物や水が入った場合は、すぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

異物が入ったまま使用すると、故障、火災、感電の原因となります。

不安定な場所に機器を置かない

ぐらついた台の上や傾いた場所、不安定な場所に機器を置かないでください。

落ちたり、倒れたりして、故障、けがの原因になることがあります。

電源の指定許容範囲を超えて使わない

機器指定の電圧許容範囲を必ず守ってください。

定格を越えた電圧での使用は、故障、火災、感電の原因となります。

⚠警告

電源ケーブル、接続ケーブルに関しての注意事項

以下の注意点を守ってご使用ください。
ケーブル被覆が損傷したり、故障を招くだけではなく、ショートや断線で加熱して、火災、感電の原因になることがあります。

- 各ケーブルを無理に曲げる、ねじる、束ねる、はさむ、引っ張るなどの行為をしないでください。
- ケーブルの上に機器本体や重い物を置かないでください。
- ステープル、釘などで固定しないでください。
- 足を引っかけるおそれのある場所には設置しないでください。
- 電源プラグはホコリや水滴がついていないことを確認し、根元までしっかり差し込んでください。
- ぐらぐらするコンセントには接続しないでください。
- 各ケーブルやコネクタに負担をかけるような場所に設置しないでください。
- 電源ケーブルは必ず伸ばした状態で使用してください。
  丸めたり束ねた状態で通電させると、加熱して火災の原因となります。

雷が鳴り出したら機器に触れない

雷が発生しそうなときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
また、雷が鳴りだしたら電源ケーブルや接続ケーブル、機器に触れないでください。感電の原因となります。

ぬれた手で機器に触れない

ぬれたままの手で機器に触れないでください。
感電や故障の原因になります。

体に異変が出たら使用しない

体に異変が出た場合は、ただちに使用をやめて、医師にご相談ください。
機器に使用されている塗料や金属などによって、かゆみやアレルギーなどの症状が引き起こされることがあります。

安全上のご注意〈必ず守っていただくようお願いいたします〉

⚠注意

設置場所に関しての注意事項

以下のような場所には機器を置かないでください。
故障、火災、感電の原因となります。

- 台所、ガスレンジ、フライヤーの近くなど油煙がつきやすいところ
- 浴室、温室、台所など、湿度の高いところ、雨や水しぶきのかかるところ
- 常に5℃以下になる低温なところや40℃以上の高温になるところ
- 火花があたるところや、高温度の熱源、炎が近いところ
- 有機溶剤を使用しているところ、腐食性ガスのあるところ、潮風があたるところ
- 金属粉、研削材、小麦粉、化学調味料、紙屑、木材チップ、セメントなどの粉塵、ほこりが多いところ
- 機械加工工場など、切削油または研削油が立ち込めるところ
- 食品工場、調理場など、油、酢、薬剤、揮発したアルコールが立ち込めるところ
- 直射日光のあたるところ
- シャボン玉やスモークなどの演出装置のあるところ
- お香、アロマオイルなどを頻繁に焚くところ

各コネクタや本体を定期的に清掃する

ACケーブルや各コネクタにホコリなどが溜まると火災の原因となることがあります。
定期的に各コネクタを取り外し、電源プラグをコンセントから抜いてゴミやホコリを乾いた布で取り除いてください。

製品に通風孔やスリットがある場合、ふさがないでください

吸排気が妨げられることにより加熱による火災、故障の原因となる場合があります。

⚠注意

長期間使用しない場合は接続ケーブルを外してください

長期間使用しない場合は、安全および節電のため、接続ケーブルを外して保管してください。

機器を移動するときは接続ケーブル類をすべて外してください

移動する際は、必ず接続ケーブル類を外して行ってください。
接続したままの移動は故障の原因となります。

小さいお子様を近づけない

小さいお子様を機器に近づけないようにしてください。
小さな部品の誤飲や、お子様が機器に乗ってしまうなど、けがの原因になることがあります。

静電気にご注意ください

機器に触れる際は、静電気にご注意ください。
本製品は精密電子機器ですので、静電気を与えると誤動作や故障の原因となります。

熱にご注意ください

使用状況により、本体外面、通風孔近辺などが高温になることがあります。
通風孔からの風に当たっていたり、熱を持った部分に触れていることで、やけどを起こすことがありますのでご注意ください。
また、製品の近くにビニール皮膜や樹脂などの熱に弱い物を置かないでください。変形、変質、変色などの影響が出る場合があります。

制限事項

- 本製品を使用することによって生じた直接、間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、軍事設備、輸送設備など人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。
  このような設備や機器、システムなどの使用によって損害があっても弊社は一切の責任を負いません。
- 他の電気製品やワイヤレス製品と本製品を近づけた場合、相互に影響して誤動作やノイズ等が発生する場合があります。
  この場合、問題が出ないように両製品を離して設置してください。
- 本製品は日本国内のご家庭での使用を前提としております。
  日本国外での使用や、特殊な工場内での使用、AC100Vとは異なる電圧下で動作させた場合の責任は負いかねます。
- 本製品にソフトウェアが含まれる場合、一般的な日本語の環境での使用を前提としており、日本語以外の表示環境などの動作では異常が生じる可能性があります。
- 本製品は本書記載の環境にて動作検証を行っておりますが、製品リリース以降のバージョンアップ等により動作に制限が出る可能性があります。
  恒久的なサポートを保証するものではありません。
- 本製品は記載のOSにて動作保証しておりますが、記載のOS上に存在するプログラム、アプリケーション、コマンドのすべてに対して正常動作をお約束するものではありません。
  特定の条件下、特定のプログラム、アプリケーション、コマンドなどは動作対象外とさせていただく場合がございます。

ご使用の前に

- 本書の内容に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書は万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきのことがありましたら、弊社サポートセンターまでご連絡いただきますようお願いします。
- 本書記載の各商品、および製品、社名は各社の商標ならびに登録商標です。
- イラストと実際の商品とは異なる場合があります。
- 改良のため、予告なく仕様を変更することがあります。

静電気や水分は機器を破壊する原因となりますので、SATA機器の取り扱い時には静電気防止バンド等を用い、水気を避けて故障の防止に努めてください。

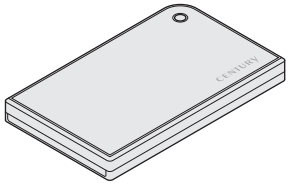
製品仕様

※本製品にHDD/SSDは付属しておりません。

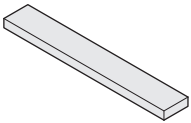
商品名		MOBILE BOX
型番		CMB25U3BK6G(Black×Gray) CMB25U3BL6G(Blue×White) CMB25U3RD6G(Magenta×Black) CMB25U3GD6G(Gold×White) CMB25U3SV6G(Silver×Black)
インターフェイス	**PC接続**	USB 3.2 Gen1
	HDD/SSD接続	SATA 3.0～1.0(6G～1.5Gbps)
寸法(約)		幅133mm × 高さ16mm × 奥行き80mm (突起部含まず)
重量(約)		86g(ドライブ含まず)
温度・湿度		温度5℃～35℃・湿度20%～80% (結露しないこと、接続するPCの動作範囲内であること)

製品内容

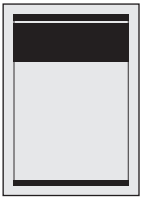
☐ MOBILE BOX 本体



☐ 7mm厚HDD/SSD用固定クッション

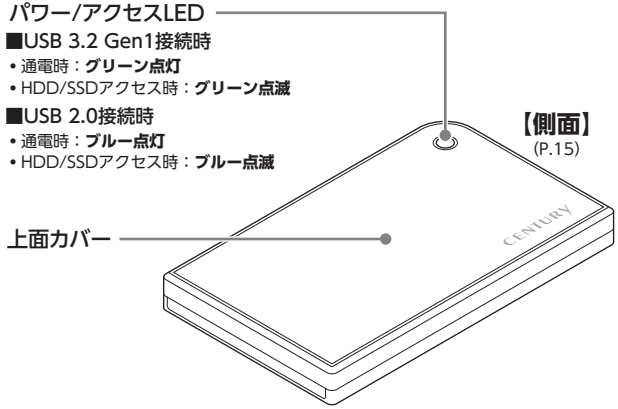


☑ 取扱説明書/保証書(本書)

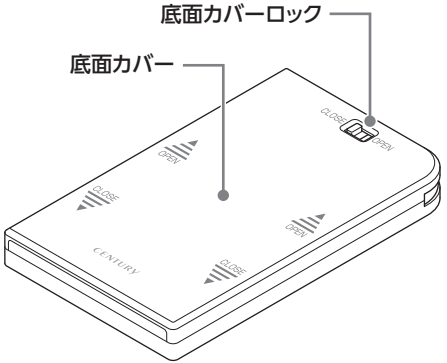


各部の名称とはたらき

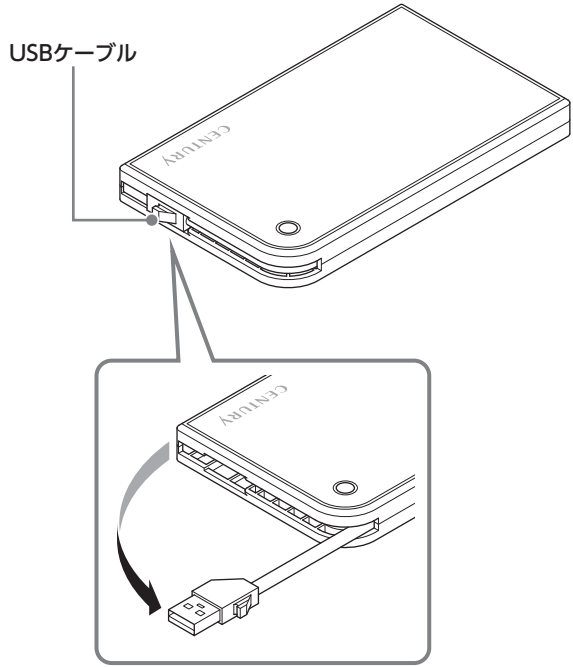
【上面】



【底面】



【側面】



対応情報

対応HDD/SSD

HDD	**5V駆動 9.5mm厚 または 7mm厚の 2.5インチ SATA HDD 【SATA 3.0～1.0(6G～1.5Gbps)】** ※本製品はSATA HDD専用です。 PATA(IDE)HDD、SAS HDDは接続できません。 ※本製品はSATA 6Gbps HDDに対応していますが、インターフェイス側がUSB 3.2 Gen1のため、転送速度はUSB 3.2 Gen1の上限速度となります。 ※3.3V駆動の2.5インチHDDは動作しません。
SSD	**5V駆動 9.5mm厚 または 7mm厚の 2.5インチ SATA SSD 【SATA 3.0～1.0(6G～1.5Gbps)】** ※1.8インチ、ZIFコネクタ、M.2、3.3V駆動および特殊形状のSSDは接続できません。 また、SLCタイプのSSDにつきましては動作保証対象外とさせていただきます。 ※5V駆動のものに限ります。 ※本製品は2.5インチHDDの形状を基準に設計されておりますので、上部カバー等が通常の2.5インチHDDと異なる形状のSSDは接続できない場合があります。

対応機種

★UASPでの動作には、UASP対応USBホストインターフェイスとWindows 8以降またはMacOS 10.8以降のOSが必要となります。

★USB-C（Type-C）コネクタ搭載のPCおよびMacに接続する場合、USB Type-C変換アダプタ等が必要になります。
本製品には付属していませんので、別途お買い求めください。

Windows	**USB 3.2 Gen1～USB 2.0インターフェイスポートを搭載したWindows PC** ※Intel製USBホスト推奨。 ※ドライバは最新のものをご使用ください。
Mac	**USB 4～USB 2.0インターフェイスポートを搭載したMac** ※増設インターフェイスカード経由での動作は保証対象外となります。

対応情報

対応OS

Windows	Windows 11 / 10 / 8.1 / 7 / Vista / XP(32bit SP3) ※Enterprise等の特定用途向けOSに起因するトラブルはサポート対象外となります。 ※Windows Updateにて最新の状態(Service Pack含む)にしてご使用ください。 最新ではない環境での動作はサポート対象外となります。
Mac	macOS 13.1 / 12.6.2 / 11.7.2 / 10.15.7 / 10.14.6 / 10.13.6 / 10.12.6 / 10.11.6 / 10.10.5 / 10.9.5 / 10.8.5 / 10.7.5 / 10.6.8

■Microsoft社のサポート終了OSに関して

Windows XP、Vista、7などはMicrosoft社のサポートが終了になっておりますが、可能な範囲でサポートさせていただきます。
ただし、サポートが終了したOSの継続利用は、更新プログラムの停止によるセキュリティ上の問題だけでなく、サポート終了となった弊社製品以外のハードウェアの影響によって弊社製品の動作に支障が出る可能性もございます。
OSのサポートが終了したことに起因する問題と弊社が判断した場合、問題点の調査や解決については対応いたしかねる場合がございますので、あらかじめご了承ください。
お客様にはできる限り、最新のOSやパソコンに入れ替えを行っていただくことを推奨いたします。
ご不明点がございましたら、弊社サポートセンター(巻末付録28ページ)までお問い合わせください。

使用上のお願い

注意

製品の性質上、すべての環境、組み合わせでの動作を保証するものではありません。

■本製品からのOS起動に関して

本製品はOS起動には対応していません。

■SATA HDD/SSDの取り扱いについて

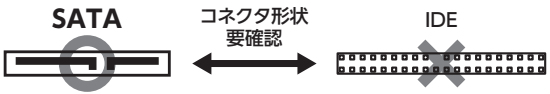
- HDD/SSDの保護のために、未使用時は本製品からHDD/SSDを取り外して保管してください。
- SATA HDD/SSDの接続コネクタにはメーカーの推奨するHDD/SSDの着脱保証回数が設定されております。
  この回数を超えるとHDD/SSDとしての品質を保証できませんので、着脱する回数は必要最小限にてご使用ください。
- HDD/SSDの取り付け、取り外しを行う際にHDD/SSDに傷がつく場合がございます。
  HDD/SSDに傷がついたり、貼付してあるラベルやシールがはがれた場合、HDD/SSDメーカーの保証が受けられなくなる場合がございます。
  HDD/SSDの出し入れはゆっくりと静かに行い、必要以上に傷がつかないように慎重にお取扱いください。

HDD/SSDの組み込み方法

HDD/SSD接続の前に

本製品は 2.5インチSATA HDD/SSD専用 です。
IDE(PATA)HDD/SSDは接続できません。

注意



★HDD/SSD接続の際には、静電気に十分注意してください。
人体に滞留した静電気が精密機器を故障させる原因になることがあります。
作業の前に、金属のフレームなどに触れて放電するか、静電気防止バンドなどをお使いください。

警告

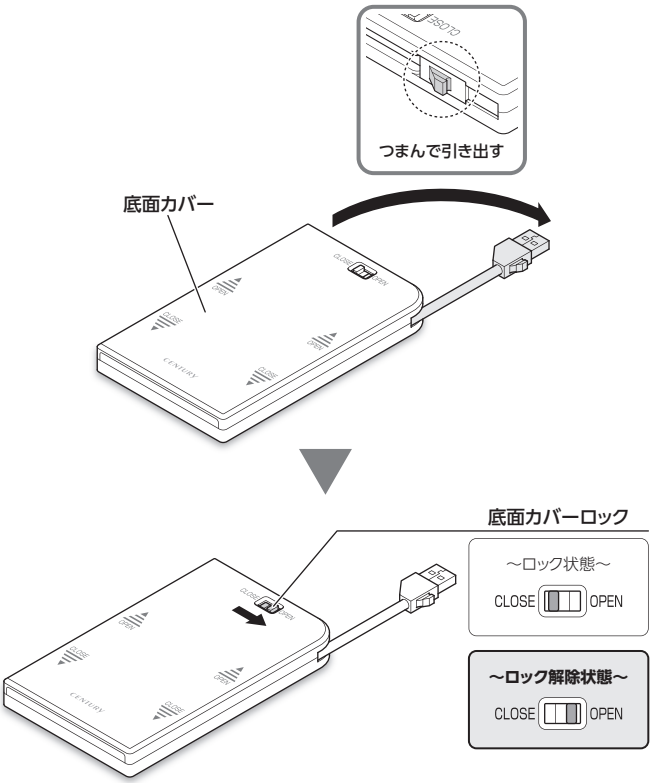
- HDD/SSDを接続する際は、必ずACアダプターをコンセントから抜き、通電されていないことを確認してから行ってください。
  本製品の電源が入った状態で作業を行うと、感電などの事故や、故障の原因となります。
- HDD/SSDのコネクタやエッジで手を切らないように十分注意して作業を行ってください。
- 本製品のケースや基板、HDD/SSDの基板面、コネクタ等で手を切らないよう、十分ご注意ください。

注意

すでにデータの入っているHDD/SSDを接続する場合は、接続時の不測の事態に備えてデータのバックアップを必ず行ってください。

HDD/SSDを本体に組み込む

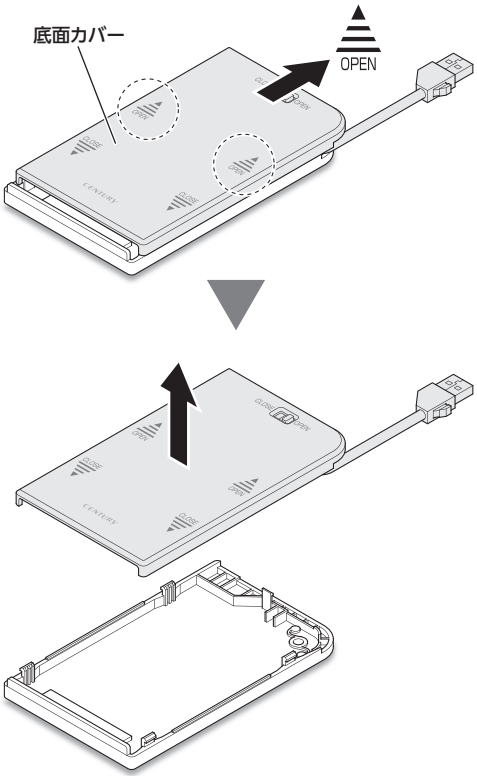
①底面カバーを上向きにし、底面カバーロックを解除します。
※上面カバーのキズ付き防止のため、やわらかい布などの上で作業を行ってください。



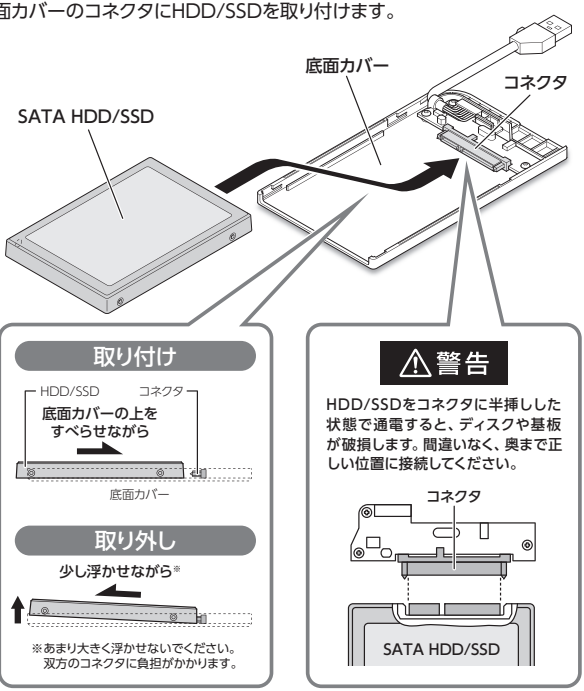
HDD/SSDの組み込み方法

HDD/SSDを本体に組み込む（つづき）

②底面カバーを「OPEN」の方向にスライドして取り外します。



③底面カバーのコネクタにHDD/SSDを取り付けます。

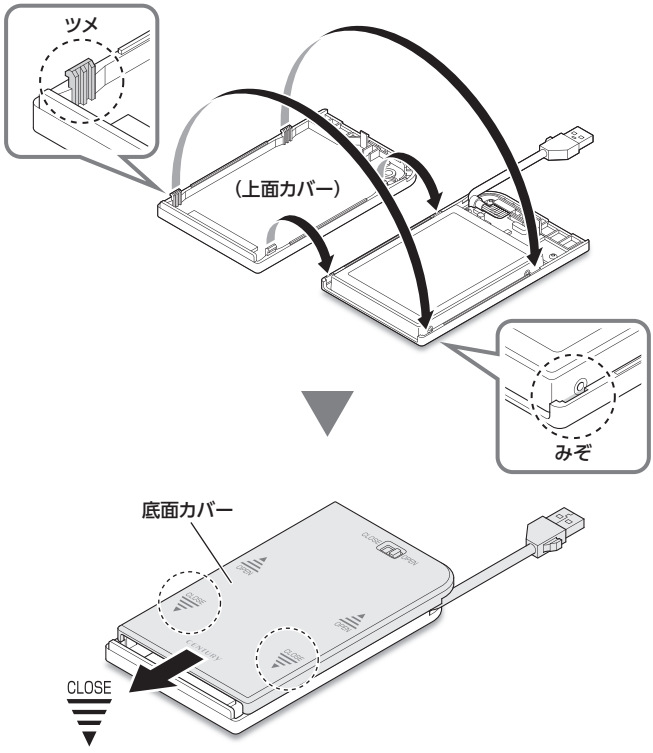


注意

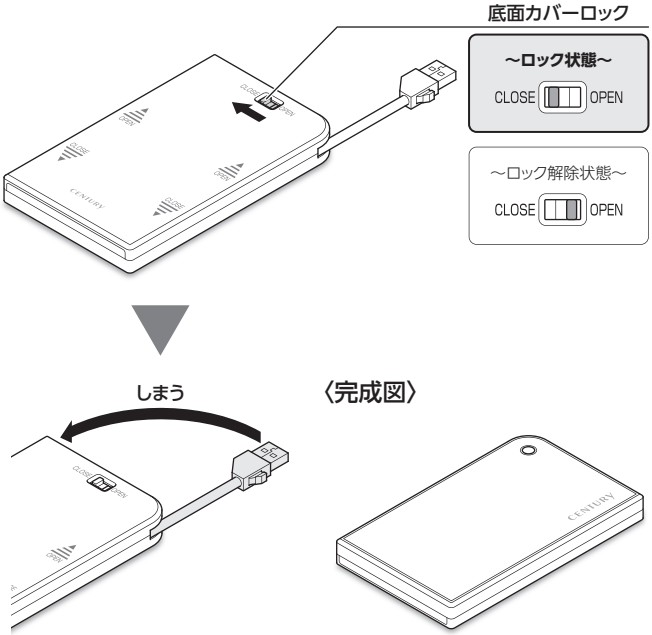
HDD/SSDの取り付け、取り外しを行う際にHDD/SSDに傷がつく場合がございます。HDD/SSDに傷がついたり、貼付してあるラベルやシールがはがれた場合、HDD/SSDメーカーの保証が受けられなくなる場合がございます。
HDD/SSDの出し入れはゆっくりと静かに行い、必要以上に傷がつかないように慎重にお取扱いください。

HDD/SSDを本体に組み込む（つづき）

④上面カバーのツメを底面カバーのみぞに合わせてかぶせ、底面カバーを「CLOSE」の方向にスライドして取り付けます。



⑤底面カバーロックをロック状態に戻して完成です。

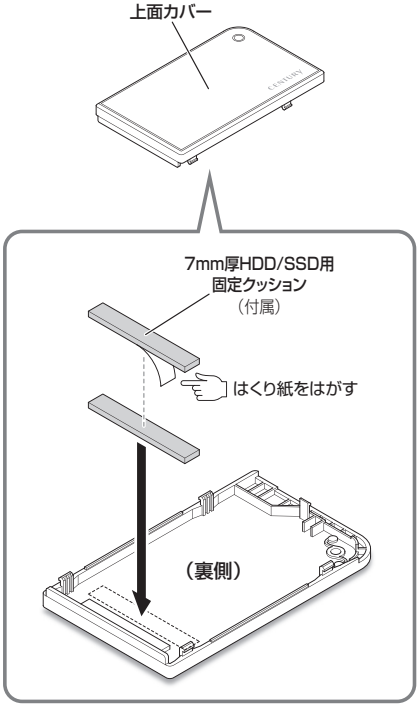


※HDD/SSDを取り外す際は、逆の手順をたどってください。

HDD/SSDの組み込み方法

7mm厚のHDD/SSDを本体に組み込む場合

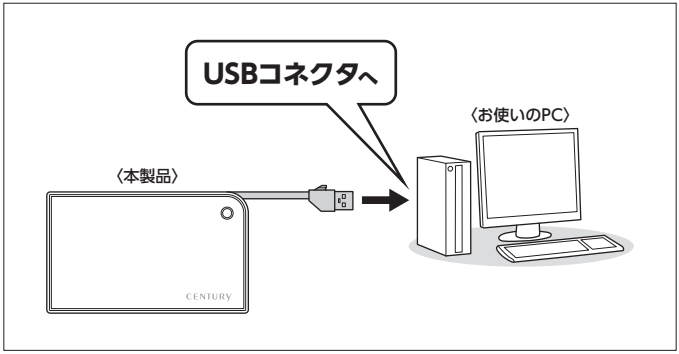
本製品に7mm厚のHDD/SSDを組み込む場合、上面カバーの裏側に7mm厚HDD/SSD用固定クッションを貼り付けてご使用ください。



注意 固定クッションの貼りなおしはできませんのでご注意ください。

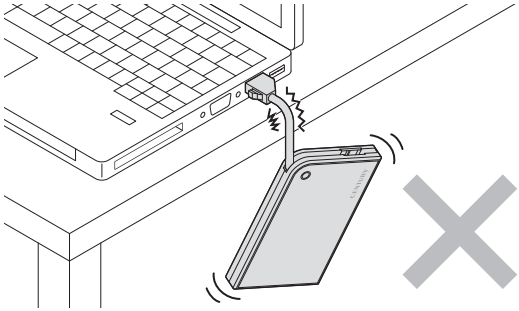
PCとの接続方法

図のようにして本製品とPCを接続します。



注意

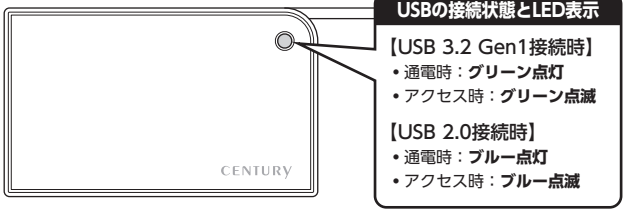
接続後は、コネクタやケーブルに負荷をかけないようにしてください。



2モードLED機能について

各USB接続時の状態を確認する

本体上面のパワー/アクセスLEDの色で、各USB接続時の状態がわかります。



注意

接続するタイミングによってUSB 2.0機器として認識してしまう場合があります。
そのような場合は、いったんケーブルを外してから、再度ケーブルを接続してください。

MEMO

トラブルシューティング

症　状	処　置
認識されない	以下をお試しください。 • HDDが正常に差し込まれているか確認する。 • 各機器の接続ケーブル、ACケーブル等を確認する。 • パワー/アクセスLEDが点灯しているか確認する。 • USB 3.2 Gen1ホストが正常に動作しているか確認する。
パワー/アクセスLEDが点灯してもHDDが回転している音がしない	配線が正しく接続されているかご確認ください。
スリープ、スタンバイ、休止状態から復帰するとフリーズする、アクセスできない	本製品はWindows、Macともに、スリープ、スタンバイ、休止状態に対応しておりません。 スリープ、スタンバイする前に取り外しを行ってください。
新しいHDDをセットしたが、マイコンピュータ内(Windows)、デスクトップ(Mac)にHDDのアイコンが表示されない	新しいHDDは接続後、領域の確保とフォーマットの作業が必要となります。 下記ページをご参照のうえ、初期化の作業を行ってください。 **■Windowsでお使いの場合** →巻末付録2【Windowsでの領域の確保とフォーマット】 をご確認ください。 **■Macでお使いの場合** →巻末付録20【MacOSでの使用方法】 または、 巻末付録24【MacOS 10.11以降でのフォーマット】 をご確認ください。

症　状	処　置
本製品からOSが起動しない	OS起動はサポートしておりません。
PCMCIA、ExpressCardのUSBカード経由で動作しない	PCMCIA、ExpressCardのUSBカードでは電力が不足してしまいます。 USBカードに電力を補強するACアダプター等がある場合、ACアダプターを接続してご使用ください。
USB 3.2 Gen1接続時にUSB 2.0として認識してしまう	接続するタイミングによってUSB 2.0機器として認識してしまう場合があります。 OS起動後の接続で問題がある場合、PCの電源がOFFの状態で接続を行ってみて、改善されるかご確認ください。
USB 3.2 Gen1接続時、接続してしばらく経つと認識されなくなってしまう	USB 3.2 Gen1インターフェイス側のドライババージョンが古いと発生する場合があります。 ご使用のUSB 3.2 Gen1インターフェイスのドライバで、新しいドライバがリリースされていないかご確認ください。
HDDの回転が不安定、または回転しません（USB 2.0、HDD使用時）	USBハブなどを経由して接続を行っていませんか? バスパワータイプのUSBハブを経由すると電力不足になり、動作しない場合があります。 直接USBポートに接続して動作をご確認ください。
本製品を接続するとWi-Fiの接続が途切れてしまう	USBケーブル長が短いため、使用環境によってはWi-Fi接続に支障が出る場合があります。 その際は、接続するUSBポートを変えるなど、本製品の位置を変えて動作をご確認ください。

症　状	処　置
500GBのHDDを接続したのに、認識される容量が465GB程度になってしまう	計算方法の違いはないか、ご確認ください。 ほとんどすべてのハードディスクドライブメーカーは公称容量を、 **●1MB = 1,000,000バイト** で計算した値で示しています。 それに対し、パソコン上では、 **●1KB = 1024 バイト** **●1MB = 1024 × 1024 = 1,048,576 バイト** **●1GB = 1024 × 1024 × 1024** **= 1,073,741,824 バイト** と計算します。 たとえば500GBと表示されているドライブの場合、これを換算してみますと、 **●500,000,000,000 ÷ 1,073,741,824** **= 約 465.66 GB** となり、35GB程度少なくなることがお分かりいただけると思います。 このような計算方法が（ハードディスクドライブメーカーでは）一般的となっておりますので、ご理解をお願いいたします。

FAQ（よくある質問とその回答）

質　問	回　答
他の機器で使用していたデータの入ったHDDを入れて、そのままデータにアクセスできますか?	基本的には使用可能ですが、以前ご使用いただいていた環境によってはご使用になれない場合があります。ご使用になれない場合は、フォーマットを行う必要があります。 不慮の事故によるデータの消失を避けるためにも、データが入ったHDDを接続する場合は必ずバックアップをとってからの作業をお願いいたします。
着脱可能回数は何回ですか?	本製品に装備されているコネクタの耐久性は、約10,000回となっております。 HDD側にもそれぞれ同様の耐久性が設定されておりますので、くわしい着脱可能回数はHDDの製造メーカーにお問い合わせください。
HDDにアクセスしていないのに、パワー/アクセスLEDが点滅します。故障ですか?	ウイルススキャンや各ソフトのアップデートチェック、インデックス作成等、OSのバックグラウンド処理で、本製品のHDDにアクセスする場合があります。
30分以上経ってもHDDのフォーマットが完了しません（Windows）	HDDのフォーマット時、「クイックフォーマット」を選択せず通常のフォーマットを選択すると、フォーマットに時間がかかります。 フォーマットを短時間で完了させたい場合は、「クイックフォーマット」を選択してください。 詳しくは、巻末付録2【Windowsでの領域の確保とフォーマット】をご参照ください。
S.M.A.R.T情報が表示されない	S.M.A.R.Tを参照するソフトによって対応が大きく異なり、表示できるものとできないものがあるようです。 弊社ではCrystalDiskInfoにてS.M.A.R.Tが表示できることを確認しております。

FAQ（よくある質問とその回答）

質　問	回　答
Windows ServerやLinuxで動作しますか?	サポート対象外となります。 サポート対象外のOSに関しては弊社で動作確認を行っておらず、ご使用に関しては自己責任での範囲となります。 ドライバの提供や操作方法等はご案内できかねます。

新しいHDD/SSDをお使いの場合は こちらをお読みください。

●Windowsでの領域の確保とフォーマット…… 巻末付録 2
■Windows 11 / 10 / 8.1 / 7 / Vistaの場合 …… 巻末付録2
■Windows XPの場合 …… 巻末付録10
●Windowsでのハードウェアの取り外し手順…… 巻末付録18
●MacOSでの使用方法(MacOS 10.6～10.10まで) … 巻末付録20
●MacOS 10.11以降でのフォーマット …… 巻末付録24

！ご注意ください！

- 領域の確保とフォーマットを行うと、HDD/SSDを初期化してパソコンで認識される状態に構成されます。
- 以前、別のパソコン等でご使用になっていたHDD/SSDをご使用の場合、次ページからの作業を行うとHDD/SSD内のすべてのデータが消えてしまいますのでご注意ください。
- 通常、データが入っているHDD/SSDを接続した場合であれば次ページからの作業は行わずに認識、データにアクセスが可能となります。

巻末付録

Windowsでの領域の確保とフォーマット

注意

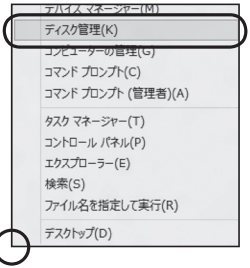
●この説明では、HDDにパーティションを分割しない設定で領域を確保する操作を説明しています。
細かく分割する操作に関しては、Windowsのヘルプや参考書を参考にしてください。
●この手順どおりに処理を行うと、HDDのフォーマットを行ってHDD内に入っているデータを消去します。
消したくないデータが入っている場合は、領域の確保とフォーマット処理は行わないようにしてください。

◉弊社WEBにてフォーマット方法の動画解説があります。ご参照ください。

	Windows 11でのフォーマット方法
	https://www.century.co.jp/support/faq/windows11-format.html
	Windows 10でのフォーマット方法
	https://www.century.co.jp/support/faq/windows-10-format.html
	Windows 8.1でのフォーマット方法
	https://www.century.co.jp/support/faq/windows8-format.html
	Windows 7でのフォーマット方法
	https://www.century.co.jp/support/faq/windows7-format.html
	Windows Vistaでのフォーマット方法
	https://www.century.co.jp/support/faq/windowsvista.html

■Windows 11 / 10 / 8.1 / 7 / Vistaの場合

1.



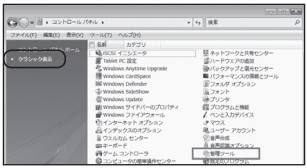
□Windows 11 /10 / 8.1

スタートボタンを**右クリック**し、「ディスク管理」を開きます。
その後は手順.3にお進みください。

□Windows 7

【スタート】→【コントロールパネル】→【表示方法：小さいアイコン※】→【管理ツール】を開きます。

※コントロールパネルを開いても【小さいアイコン】または、【クラシック表示】にしないと管理ツールが表示されませんのでご注意ください。



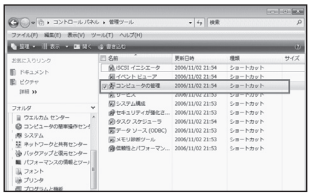
□Windows Vista

【スタート】→【コントロールパネル】→【クラシック表示※】→【管理ツール】を開きます。

※コントロールパネルを開いても【小さいアイコン】または、【クラシック表示】にしないと管理ツールが表示されませんのでご注意ください。

Windowsでの領域の確保とフォーマット（つづき）

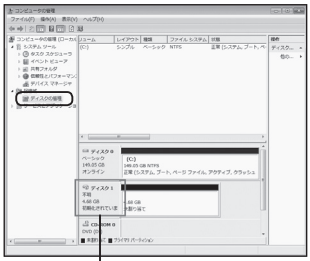
2.



【管理ツール】の中の【コンピュータの管理】を開きます。

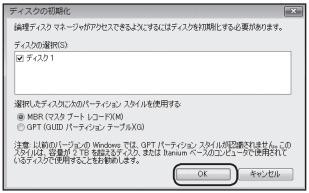
※このとき【ユーザーアカウント制御】ウインドウが表示されます。
【続行】をクリックしてください。
続行できない場合はユーザーに管理者としての権限がありません。
システムの管理者にご相談ください。

3.



【コンピュータの管理】の【ディスクの管理】を選択すると、接続したディスクが【初期化されていません】と表示されています。
そこを右クリックして表示されるポップアップメニューから【ディスクの初期化】を選択します。

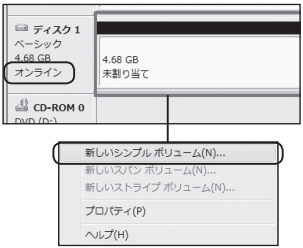
4.



【ディスクの初期化】ウインドウが表示されます。

先ほど選択したディスクで間違いないかを確認して【OK】をクリックします。

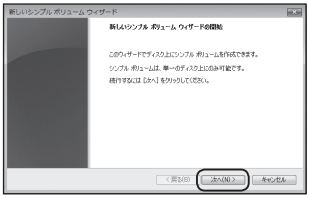
5.



【ディスクの初期化】が完了するとディスクの状態が【オンライン】に変わります。
この状態ではまだ使用できませんので、ボリュームを作成してフォーマットする必要があります。ディスク名の表示の右側の、容量が表示されているところを【右クリック】すると、ポップアップメニューが表示されますので【新しいシンプルボリューム】を選択します。

Windowsでの領域の確保とフォーマット(つづき)

6.



【新しいシンプルボリュームウィザード】が表示されます。
設定する箇所はありませんので【次へ】をクリックします。

7.

【ボリュームサイズの指定】が表示されます。
MB(メガバイト)単位でボリュームサイズを指定します。
ここで指定したサイズがパーティションサイズとなりますので、任意の数値を指定してください。
特に指定しなければ最大容量で設定されます。
設定したら【次へ】をクリックします。

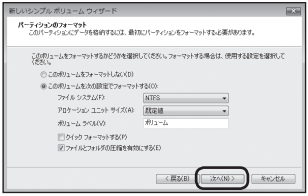
8.

【ドライブ文字またはパスの割り当て】ウインドウが表示されます。ドライブ文字はマイコンピュータやエクスプローラで割り当てられるドライブのアルファベットです。通常、Cが起動ドライブで以降アルファベット順に割り当てられます。特に指定がなければ空いている割り当て番号のいちばん若いアルファベットが割り当てられます。

【次の空のNTFSフォルダにマウントする】と【ドライブ文字またはドライブ パスを割り当てない】は通常使いませんので選択しないでください。
こちらの機能を選択する場合は、Windowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

Windowsでの領域の確保とフォーマット（つづき）

9.

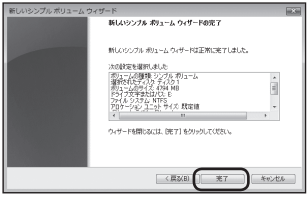


【パーティションのフォーマット】ウインドウが表示されます。

下記の各設定が終わりましたら、【次へ】をクリックします。

ファイルシステム	NTFSを選択します。他のファイルシステムは使用しないでください。
アロケーションユニットサイズ	パーティションのアロケーションユニットサイズを指定します。 特に使用するアプリケーション等の指定がない限り、既定値を選択します。
ボリュームラベル	マイコンピュータ等から表示されるボリュームラベルを設定します。
クイックフォーマットする	このチェックボックスを有効にすると、フォーマットする際にクイックフォーマットでフォーマットを行います。 通常のフォーマットと違い、ディスクの全領域をベリファイしませんので、時間がかからない替わりに、不良セクタ等の代替も行われません。 お使いのディスクの状態に合わせて選択してください。
ファイルとフォルダの圧縮を有効にする	このチェックボックスを有効にすると、ファイルとフォルダの圧縮が有効になります。 通常よりも大きな容量を使用できるようになりますが、パフォーマンスの面では圧縮されていない状態よりも劣ります。 一部のアプリケーションでは、この設定が推奨されていないこともありますのでご注意ください。

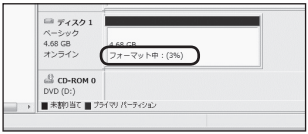
10.



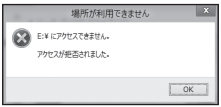
【新しいシンプルボリュームウィザードの完了】ウインドウが表示されます。

テキストボックスの設定を確認して【完了】をクリックするとフォーマットが開始されます。

11.



これでフォーマットは完了です。
ディスクの管理の容量表示ウインドウには、フォーマット完了までの進行状況が表示されます。
フォーマットが完了すると、マイコンピュータにディスクが表示され、使用可能になります。



- フォーマット中にディスクにアクセスしようとすると警告が表示されますが故障ではありません。
- フォーマット中は、PC、本製品の電源を切ったり、ケーブルを取り外したり、Windowsを終了しないでください。
  故障の原因となります。

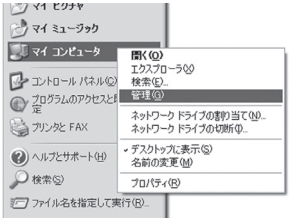
Windowsでの領域の確保とフォーマット

注意

フォーマットにはアドミニストレータ権限を持っているユーザーでログインして行ってください。

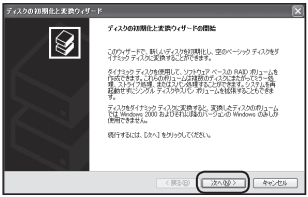
■Windows XPの場合

1.



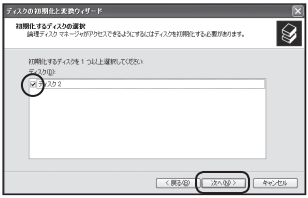
スタートメニューのマイ コンピュータを「右クリック」で開き「管理」を選択します。
「コンピュータの管理」ウインドウが開きます。

2.



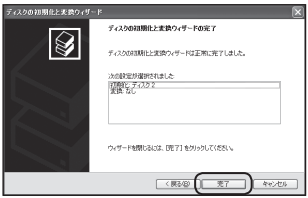
「コンピュータの管理」ウインドウの「ツリー」の中から「ディスクの管理」を選択すると、「ディスクのアップグレードと署名ウィザードの開始」ウィンドウが表示されます。
「次へ」をクリックします。

3.



「署名するディスクの選択」ウインドウが表示されます。
署名するディスクにチェックを入れて「次へ」をクリックします。

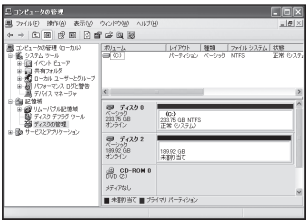
4.



「ディスクのアップグレードと署名ウィザードの完了」ウインドウが表示されます。
「完了」をクリックしてウインドウを閉じます。

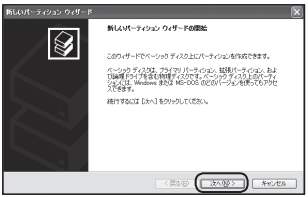
Windowsでの領域の確保とフォーマット（つづき）

5.



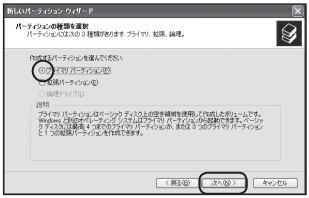
次にパーティションの作成を行います。
「未割り当て」と表示され、斜線になっているディスクがフォーマットされていないディスクですので、「未割り当て」と表示されている部分を「左クリック」で選択し、「右クリック」でメニューを開き、「パーティションの作成（P）..」を選択します。

6.



「パーティション作成ウィザード」が表示されます。
「次へ」をクリックします。

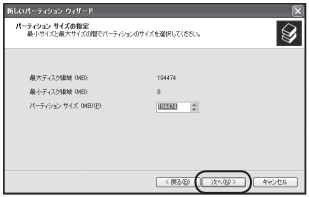
7.



「パーティションの種類を選択」ウインドウが表示されます。
「プライマリパーティション」を選択して「次へ」をクリックします。

※ひとつのディスク上に5つ以上のパーティションに分割する場合は、拡張パーティションを選択します。

8.

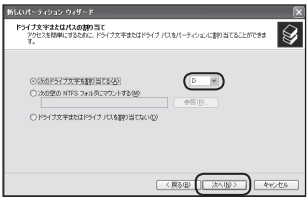


「パーティションサイズの指定」ウインドウが表示されます。
「次へ」をクリックします。

※既定値は最大容量(1パーティション)ですが、複数のパーティションを作成するには、容量を減らし、「パーティション作成ウィザード」をくり返して行うことで、複数のパーティションを作成することができます。

Windowsでの領域の確保とフォーマット（つづき）

9.



【ドライブ文字またはパスの割り当て】ウインドウが表示されます。

ドライブ文字は、マイコンピュータやエクスプローラで割り当てられるドライブのアルファベットです。

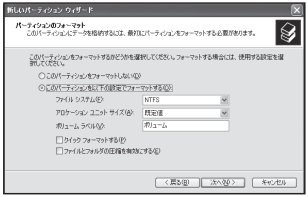
通常、Cが起動ドライブで以降アルファベット順に割り当てられます。

特に指定がなければ空いている割り当て番号のいちばん若いアルファベットが割り当てられます。

【次の空のNTFSフォルダにマウントする】と【ドライブ文字またはドライブ パスを割り当てない】は通常使いませんので選択しないでください。

こちらの機能を選択する場合は、Windowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

10.



「パーティションのフォーマット」ウインドウが表示されます。

このウインドウでフォーマット設定をすることができます。

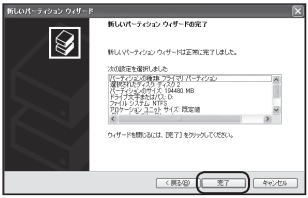
※Windows XPでは、32GBを越えるFAT32ボリュームをフォーマットすることができません。

使用するファイルシステム	NTFSとFAT32が選択可能です。
アロケーションユニットサイズ	アロケーションユニットの大きさを設定します。 通常は既定値のまま変更する必要はありません。
ボリュームラベル	「マイコンピュータ」で表示されるボリューム名です。 指定しなければ既定の「ボリューム」というボリュームラベルが設定されます。
クイックフォーマットする	このチェックボックスを有効にすると、フォーマットする際にクイックフォーマットでフォーマットを行います。 通常のフォーマットと違い、ディスクの全領域をベリファイしませんので、時間がかからない代わりに、不良セクタ等の代替も行われません。お使いのディスクの状態に合わせて選択してください。
ファイルとフォルダの圧縮を有効にする	Windowsのファイル圧縮機能を使用します。 ファイルを圧縮して格納することにより、実際の容量よりも大きく使用することが可能ですが、仕様的にファイルの読み書き速度の低下をまねくようです。 詳しくは、お使いのWindowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

すべて設定して「次へ」をクリックします。

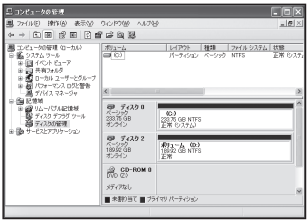
Windowsでの領域の確保とフォーマット（つづき）

11.



「パーティション作成ウィザードの完了」ウインドウが表示されます。
「完了」をクリックして閉じます。

12.



フォーマットが開始されます。
「ディスクの管理」で表示されるステータスが「フォーマット中」になります。
進行状況が100%になり、ステータスが「正常」になればフォーマット完了です。
使用可能になっていますので、マイコンピュータからディスクアイコンを開いてコピーなどを行ってみてください。

- フォーマット中にディスクにアクセスしようとすると警告が表示されますが故障ではありません。
- フォーマット中は、PC、本製品の電源を切ったり、ケーブルを取り外したり、Windowsを終了しないでください。故障の原因となります。

MEMO

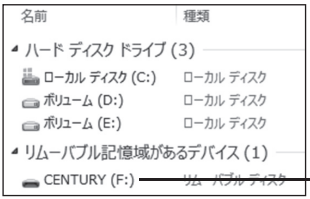
Windowsでのハードウェアの取り外し手順

本製品はUSB接続時、PC起動中にハードウェアの取り外しが可能です。

※製品の中に組み込んだHDD/SSDを取り外す際は、ハードウェアの取り外し処理をしたうえで、必ず製品の電源をオフにしてから行ってください。

※画面はWindows 8のものになります。他のOSでは画面が異なりますが、操作方法は同一となります。

1. 「コンピュータ」等で取り外しを行うデバイスのドライブレターを確認します。
【例】ドライブ(F:)を取り外す場合

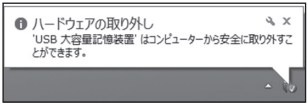


2. タスクトレイの「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックします。

3. **手順1**で確認したドライブレターのドライブをクリックします。

※装置の名称は、お買い上げの製品によって異なります。

4. 取り外し完了のメッセージが表示されたことを確認し、PCまたは本製品からケーブルを取り外してください。



巻末付録

MacOSでの使用方法(MacOS 10.6～10.10まで)

本項では、MacOSに新しいSSDを接続した際のフォーマット方法を説明します。

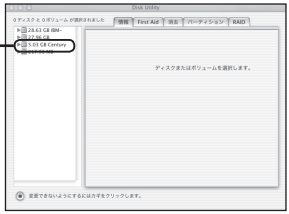
※MacOS 10.11以降でフォーマットを行う場合は、巻末付録24【MacOS 10.11以降でのフォーマット】をご参照ください。

⚠ 注意	**安全なフォーマットのために、すでに接続して使用しているSSDがある場合はあらかじめ取り外しを行い、新しいSSDのみを接続してください。**

◉弊社WEBにてフォーマット方法の動画解説があります。ご参照ください。

	Macでのフォーマット・初期化方法
	https://www.century.co.jp/support/faq/mac-format-faq.html

1.

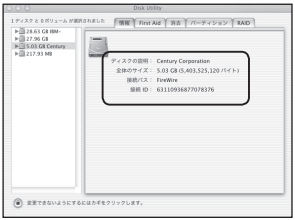


容量が一致する新しいSSD

アプリケーション>ディスクユーティリティを起動します。
起動すると左側にフォーマット可能ディスクの一覧が表示されますので、新しく接続したSSDと容量が一致するものを選択してください。

※他のSSDが表示されている場合はディスクユーティリティを一旦終了し、取り外し処理を行ってからもう一度ディスクユーティリティを起動してください。

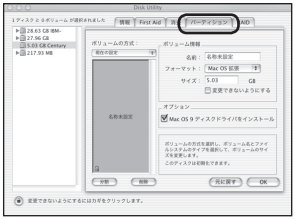
2.



接続されているディスクの情報が表示されます。

MacOSでの使用方法(MacOS 10.6～10.10まで)(つづき)

3.



上の「パーティション」タブをクリックします。
パーティション設定を変更できます。

ボリューム情報	ボリューム情報は「ボリューム方式」で選択されたボリューム情報を変更します。 「ボリュームの方式」で別のパーティションを選択すると、パーティションごとに設定を変更することが可能です。
名前	作成するボリューム名を変更できます。 変更しないと「名称未設定」という名前が付けられます。
フォーマット	作成するボリュームのフォーマットを選択します。 MacOS標準、MacOS拡張、UNIXファイルシステム、空き容量が作成できます。 通常はMacOS標準かMacOS拡張を選択してください。
サイズ	作成するボリュームのサイズを変更できます。
オプション	MacOS 9ディスクドライバをインストールチェックをすると、MacOS 9で動作するドライバをインストールします。
分割	選択されているボリュームを同じ容量で分割します。
削除	選択されているボリュームを削除します。
元に戻す	直前の変更を元に戻します。

4.

すべて決定したら右下の「OK」をクリックします。
警告が表示されます。

作成する場合は「パーティション」を、キャンセルする場合は「キャンセル」をクリックします。

5.

フォーマットが完了すると、デスクトップにSSDアイコンが表示されます。

取り外しをする場合は、このアイコンをDockの中のごみ箱にドロップします。

巻末付録

MacOS 10.11以降でのフォーマット

注意

安全なフォーマットのために、すでに接続して使用しているHDD/SSDがある場合はあらかじめ取り外しを行い、新しいHDD/SSDのみを接続してください。

◉弊社WEBにてフォーマット方法の動画解説があります。ご参照ください。

	Macでのフォーマット・初期化方法 (OS X El Capitan以降[Mac OS 10.11～])
	https://www.century.co.jp/support/faq/mac-osx-el-capitan-format.html

1.

フォーマットされていないディスクを接続すると、メッセージが表示されますので、「初期化...」をクリックすると、ディスクユーティリティが起動します。

※手動でディスクユーティリティを起動する場合は、アプリケーション>ユーティリティ>ディスクユーティリティを選択してください。

2.

ウインドウ左側「外部」の下に接続されているディスクが表示されますので、フォーマットするディスクを選択します。

※フォーマットするディスクの容量等を確認して間違いないか確認してください。

※macOS High Sierra(MacOS 10.13)で外部ディスクが表示されない場合は、表示メニューの「全てのデバイスを表示」を選択し、ディスクユーティリティを起動し直してください。

MacOS 10.11以降でのフォーマット（つづき）

3.

❶ウインドウ上部にある「消去」ボタンをクリックすると、シートダイアログが表示されますので設定を確認します。

【名前】…ディスクの名前を入力します。
【フォーマット】…通常は「OS X 拡張（ジャーナリング）」を選択してください。

※macOS High Sierra（MacOS 10.13）では「MacOS拡張（ジャーナリング）」を選択してください。
また、APFSでフォーマットを行うと、macOS Sierra（MacOS 10.12）以前のOSでは読み込みできなくなりますのでご注意ください。

【方式】…通常は「GUIDパーティションマップ」を選択してください。

※MacとWindows両方で利用したい場合は、フォーマットを「MS-DOS（FAT）」または「exFAT」、方式は「マスターブートレコード」を選択してください。
「MS-DOS（FAT）」は2TBより大きな容量のディスクでは利用できません。
exFATはOSのバージョン（過去のバージョン等）によっては、対応していない場合があります。

❷「消去」ボタンをクリックすると、フォーマットが開始されます。

4.

完了のシートダイアログが表示されればフォーマット完了です。

サポートのご案内

■販売・サポート

株式会社 センチュリー

CENTURY

■サポートセンター

〒277-0872　千葉県柏市トヨフタ(十余二)249-329

☎ 04-7142-7533

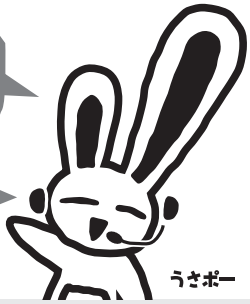
(平日 午前**10**時～午後**5**時まで)

【FAX】04-7142-7285
【Web】https://www.century.co.jp
【Mail】support@century.co.jp

～お願い～
修理をご依頼の場合、必ず事前にサポートセンターにて受付を行ってから発送をお願いいたします。

「センチュリーサポート」へご相談の際は…

商品名は、
「モバイルボックス2.5」
を言ってネ!



コンピュータは読み方が変な用語がいっぱい！

SATA?

えすえーていーえー?

読み方が判らない場合はそのままアルファベットを読み上げてね！

お使いのPCや本製品、パッケージなどをご用意したうえでお電話いただくと、対応がスムーズに進みます。

ー 本書に関するご注意 ー

1．本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
2．本書の内容については、将来予告なく変更することがあります。
3．本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたらご連絡ください。
4．運用した結果の影響については、【3.】項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5．本書の内容の抜粋または全てを弊社に無断で複製、転載、送信、配布、翻訳、改変、引用することを禁止します。
6．本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはセンチュリーおよびセンチュリー指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

※記載の各会社名・製品名は各社の商標または登録商標です。

※The warranty for this product is valid only in Japan. Only Japanese-language drivers and manuals are included. It does not support other language OS. Support desk is only available in Japanese. Please note that maintenance and repair services are not warranted outside Japan. All listed informations are all trademarks or registered trademarks of the respective companies.

アンケートにご協力をお願いします

センチュリー商品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
今後の商品開発などの参考にさせていただきますので、下記URLにてアンケートの入力をお願いいたします。
どうぞよろしくお願いいたします。

https://www.century.co.jp/support/contact/questionnaire.html

保　証　書

保　証　規　定

1. 弊社の保証は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理または交換をお約束するものです。
   したがいまして、本保証によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
2. 本製品は、本保証書に明記された保証期間を設けております。
   販売店より発行された購入証明書に記載された日付より保証期間が発生するものとします。
   取扱説明書の注意書きにしたがって、正常な使用状態で万一保証期間内に故障した場合には無償で修理いたします。
   (修理が不可能な場合は在庫などの関係上、相当品をもって換えさせていただく場合がございます。)
3. 購入証明書は、販売店の発行した弊社製品の型番と購入日が記載された領収書や納品書を指します。
   通販等で領収書や納品書が無い場合はご購入履歴を印刷した物を添付してください。
4. 保証期間中であっても以下のような場合には保証いたしかねます。
   a. 購入日を証明する資料を提示されない場合。
   b. 購入日を証明する資料が改ざんされた疑いのある場合。
   c. 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
   d. 事故等の外部要因に起因する故障および損傷。
   e. お買い上げ後の輸送、移動等における落下・衝撃等、お取り扱いが適当でないために生じた故障および損傷。
   f. 接続している他の機器に起因して生じた本製品の故障および損傷。
   g. 特定機種でのみ発生する動作不良等。(相性の問題)
   h. 説明書に記載の使用方法、または注意に反するお取り扱いによって生じた故障および損傷。
   i. 改造またはご使用の責任に帰すると認められる故障および損傷。
   j. 正常なご使用において消耗品が自然消耗、摩耗等した場合。
   k. オークション等を含む個人間売買や中古販売、または譲渡によって製品を入手した場合。
5. 保証期間内外を問わず、すべてセンドバックによる修理対応とさせていただきます。尚、保証期間内の送料は、発送時はお客様のご負担、修理完了後の製品の返送時は弊社の負担とさせていただきます。保証期間外の送料は、往復ともお客様負担とさせていただきます。
6. 本保証、または他のいかなる黙示または明示の保証のもとでも、弊社の責任は上記に規定する修理に限られます。いかなる保証違反についても、これらの救済を唯一の救済手段といたします。弊社は、保証違反または他のいかなる法理論から生じる直接的、特別、付随的または間接的な損害について責任を負いかねます。弊社が責任を負いかねるこれらのものには、逸失利益、ダウンタイム(機能停止期間)、顧客からの信用、設備および財産への損害または交換、およびお客様の製品を含むシステムに蓄積されていた、または共に使用されたいかなるプログラムまたはデータの修復、再プログラミング、複製にかかる費用等が含まれます。
7. 修理期間中の保証に関しては、弊社到着日から返送日までの日数分、保証期間を延長させていただきます。延長保証を受ける際には、弊社からの修理完了報告書を添付していただく必要がございます。
8. 保証内、有償に関わらず、交換した不良部品の所有権は、当社に帰属するものとします。交換した不良部品の返却は致しかねますのでご了承ください。また、いかなる場合も交換部品の先出し出荷及び販売は行いません。
9. 製品の保守部品の保管期間は生産完了後3年間とさせていただきます。その後の修理等に関するご要望にはお応えいたしかねる場合がございます。
10. 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
11. 本保証は日本国内でのみ有効とさせていただきます。日本国外への保守対応、修理対応は行いません。
    This warranty is valid only in Japan.

保証期間	ご購入日から **1年間**

※中古販売、転売、オークション等のご購入を除きます。

※保証期間内の修理の際、ご購入時のレシート等をご同梱いただきます。
　紛失しないように大切に保管してください。